

# 息子として、

平和祈念  
交流展

# 父として、 兄として、

## 特攻隊員が遺した言葉

知覧特攻平和会館 所蔵資料展

2022年 4月26日(火)ー7月3日(日)

開館時間／9時30分～17時30分(入館は17時まで)

会場／平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

主催・平和祈念展示資料館、知覧特攻平和会館

休館日／毎週月曜日



平和祈念展示資料館(総務省委託) 入館無料

東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階 Tel: 03-5323-8709 <https://www.heiwakinen.go.jp>



@heiwakinen



平和祈念  
交流展

# 息子として、 兄として、 父として

## 特攻隊員が遺した言葉

知覧特攻平和会館 所蔵資料展

平和祈念展示資料館では、第二次世界大戦における兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦をより多くの人々に伝えるため、他館と連携した交流事業を行っています。令和4年度は、鹿児島県南九州市の知覧特攻平和会館との交流展を開催します。

知覧特攻平和会館では、大戦末期の沖縄戦において、航空特攻作戦により散華された陸軍特別攻撃隊員1,036名の遺影や遺書、遺品等を展示しています。航空特攻とは主として、爆弾を装着した航空機にパイロットが搭乗したまま、敵の艦船に体当たりする「必死」の作戦です。亡くなった特攻隊員は17歳から32歳、平均年齢21.6歳の若者たちでした。

本交流展では、知覧特攻平和会館の所蔵資料を借用し、特攻隊員が家族や恋人に宛てた手紙や遺書等をエピソードとともに紹介します。息子として、兄として、夫や父として、大切な人へ最期の言葉を遺し、知覧基地から「十死零生」の還らざる空へと飛び立った特攻隊員たちの姿に迫ります。

### 知覧特攻平和会館

鹿児島県南九州市知覧町郡 17881



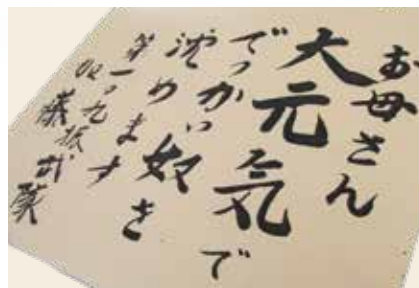
会館正面



館内の様子



家族への想いを綴った日記



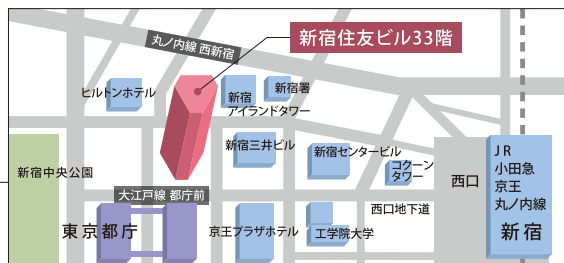
母親に宛てた遺書



出撃の見送りに敬礼で応える特攻隊員

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、状況により臨時休館や開催期間変更となる場合があります。ご来館の前にホームページ等でのご確認をお願いいたします。

## 平和祈念展示資料館(総務省委託)



▶都営大江戸線(都庁前)駅 A6出口より徒歩約1分 ▶東京メトロ丸ノ内線(西新宿)駅より徒歩約5分 ▶JR線、小田急線、京王線(新宿)駅西口より徒歩約10分